

気づき、考え、実行する さし人つつしん

唐津市立佐志小学校

学校だよりNO.25

令和3月10日

文責：校長 松野克己

東日本大震災から12年

明日3月11日は東日本大震災が起きた日です。

2011年(平成23年)のことですから、早くも12年が経ったことになります。私は当時、外町小で6年生を担当しており、5時間目は体育館でバスケットボールのクラスマッチをしていました。それが終わって職員室に戻るとテレビの前に数名の人だかりがあり、画面に目を移すとあちこちで、大きく揺れて、物が散乱しているテレビ局の様子や亀裂が入り、あちこちで車が衝突した道路の映像が映り、子ども達に「何か大変なことが起きているようです。家に戻ったらすぐにテレビを見てごらん。」と言って帰しました。その日は金曜日でしたので、それから3日間はテレビに映る津波の映像から目が離せませんでした。私同様に、自然の



猛威にショックを受けた保護者の方も多かったのではないのでしょうか。

12年前ですから子ども達の記憶にはありません。しかし、この東日本によって家族を失った人や未だ故郷に帰れない人がたくさんいるわけで、決して風化させてはいけないと思います。今日は放送でしたが、この東日本大震災についてのお話を生徒指導担当が行いました。明日はテレビでも報道されます。ぜひ、親子でご覧になってお話をしてはいかがでしょうか。午後2時46分にはサイレンもなるでしょうから、黙祷を捧げるだけでも意識化につながると思います。

**高台に避難
してください**



好き嫌い・・・少しずつでも減らしたい



県内の小学校5年生を対象に「食事・健康に関する意識調査」というアンケートを実施されました。その結果の中で気になったことがあったのでお知らせします。「食べ物の好き嫌いがありますか」という質問に対して「ない、ほとんどない。」と答えた児童の割合が唐津市の平均が約50%だったのに対して、本校の児童は約30%でした。一言で言うと本校の5年生は好き嫌いが多いということです。この好き嫌いについては自分自身、子供の時にありましたし、今でも苦手なものがありますから偉そうなことは言えないのですが、好き嫌いはないに越したことはありませんね。何でもおいしく食べられますから。ただし、学校給食では当然、無理強いはいしませんし「食べられるだけ、がんばってごらん。」という程度の指導となります。ある特定の食材や料理が苦手な程度は別のもので栄養を補えますが、例えば野菜全般が苦手とか、揚げ物ばかり食べるといった食生活は問題です。生活習慣病のリスクを子供の時から抱え込むことになりますから、こういう場合は少しずつでも食生活の見直しが必要なようです。

シート巻取機を購入していただきました



この度、PTA会費で左の写真のようなシート巻取機を購入していただきました。儀式的行事の時など体育館全面にシートを敷きますが、これまでずっとその片付けが一苦勞でした。コロナ前にバザーのお世話をされた方の中には経験がある方もいらっしゃるでしょう。巻いていく時、ちょっとでもゆがむとそれがどんどん広がってやり直しになります。神経と体力を使い、高学年の力を結集しても40分はかかる重労働でしたし、頑張りすぎると腰痛になっていました。以前から欲しかった巻取機ですが、シート1枚ごとに心棒1本が必要となり、高額となるため我慢してきました。しかし、今回、PTA活動費の残額が大きくなることから、買っていただきました。とってもありがたく思っています。さっそく卒業式や入学式で使わせていただきます。

児童生徒俳句川柳コンクール

毎年、冬休みには唐津キャスルライオンズクラブ主催の「からつ児童生徒俳句川柳コンクール」が行われ、唐津地区の多くの学校から9000句を越える作品が寄せられます。このほどその結果が伝えられ、佐志小から4名の児童が入賞しましたので紹介します。

【入選】 海のゴミ 拾って守る 魚たち
5年 清水ふうた
【佳作】 はつもうで おまもりもらって うれしいな
2年 菱沼かずは
中学校 進学楽しみ がんばろう
6年 門川りさ
初夢は 冬の宿題 やっていた
6年 伊藤けいご



5年生の意見文が佐賀新聞で紹介されました

佐賀新聞に「ひろば(読者の声)」という投稿欄があり、5の2の児童が国語科で学習した意見文を応募していました。11名の作品が連日掲載されましたが、その内容がたいへんしっかりしているということで、栗原教育長からも讃辞のお電話をいただきました。5年生は海洋学習の一環として環境問題を学んでいますので、そのことを取り上げた作品を2つ紹介します。

ワカメで地球環境をよくしたい 5年 井上穂乃香

昨年11月、学校でワカメの種付け体験をしました。そこでは、九州大学の早渕百合子准教授から、ワカメなどの海藻が吸収する炭素「ブルーカーボン」について話を聞くことができました。早渕准教授は「ワカメは二酸化炭素を吸収している」と話してくれました。温暖化が進んでいる今、二酸化炭素を減らすことが大切です。ワカメは温暖化を食い止める大切な役割があるのです。

ワカメを栽培しすぎると、消費できないと思う人がいるかもしれません。確かに、今の消費量では収穫されたワカメが食べ切れずに捨てられ、食品ロスにつながるかもしれません。しかし、ワカメには栄養がたくさんあり、美容にもいいことが分かっています。ワカメを使ったレシピを広め、美容品を開発することで、食品ロスを減らすことができると思います。

また、ワカメの戻し汁はキッチンの掃除や急須の汚れをとるのに使えると聞いたことがあります。このように、ワカメの使い道を増やし、栽培も増やすことで、環境にも人間にもよいことにつながります。

再生可能エネルギーに変えよう 5年 大石 兼続

僕は家で使うエネルギーは太陽光や風力など再生可能エネルギーに変えるべきだと思います。

最近、「石油やガス代などが高騰している」というニュースをよく見ます。そこで、再生可能エネルギーが注目されています。価格だけではなく、再生可能エネルギーのようなクリーンなエネルギーを使うことで、環境にも優しいからです。

再生可能エネルギーは二酸化炭素を出しません。唯一、ものを燃やして発電するバイオマス発電でも出しません。逆に、バイオマス発電はごみを燃やすため、ごみの減少にもつながると思います。

それだけではエネルギーが足りないのではないかなと思う人がいるかもしれません。しかし、再生可能エネルギーの発電量は年々増えており、今後は十分な発電量が見込めるようになると思います。

普及率を上げることでSDGsにも貢献できていいと思います。再生可能エネルギーは日に日に進歩していて、1日の発電量も増え続けると考えます。このような利点がある再生可能エネルギーに変えるべきだと思います。



